

ポイント

「予定通り増税」「見直し」両方にリスク存在。どちらのリスクがより深刻かの比較が重要。増税先送りで金利暴騰なら政策対応は困難

伊藤 元重 東京大学教授

予定通り来年に消費税率を上げるのか、それとも引き上げ幅を小幅で刻む(あるいは延期する)のか、それぞれマクロ経済的なリスクがあることは明らかだ。予定通りの増税することで懸念されるのは景気が失速することだ。...

経済教室

う人たちの中には、増税スケジュールを愛せば、国債金利の暴騰(国債価格の暴落)が起きると心を配る人が多...

米スタンダード・アンド・プアーズ(S&P)やムーディーズのような格付け機関は、増税が先送りされれば、日本の国債のリスク評価を再検討するだろう。...

消費増税の論点① 金利暴騰リスク、より深刻



いことになる。政府にも日銀にも国債の暴落を止めることは簡単なことではないのだ。

膨大な公的債務の存在は深刻な問題である。それにもかかわらず国債金利は非常に低い水準で推移している。...

財政への信認維持を 景気失速には対応可能

景気失速には対応可能

すでに金利は相当に高くなっているはずである。そうではないのは、財政危機が起こる確率は当面、非常に低いと市場がみている...

的に低いといっている。国債金利が非常に低い水準で推移していることについては、関係があるかもしれない。...

いうテールリスクの存在を前提とすれば、国債金利があまりに低くなることは歓迎すべきことではない。...

確率は小さいがもし起きたら取り返しのつかないようなテールリスク。これが消費税率の引き上げ先送りによって懸念される国債リスクである。...

このリスクの比較の観点から、重要なポイントがある。リスクと一言でいって、リスクの「質」にまで踏み込んだ議論が必要である。...

Table with 3 columns: Country, MuDiyeez, S&P. Rows include Japan, USA, France, Germany, UK, China, Korea, Italy, Spain, Greece.

この日本の国債に当てはめて考えたい。日本の国債金利の暴騰の確率は、今の段階では非常に低い。...

取り返しのつかないリスクとどこまでいえるかは、消費税率引き上げによって景気が失速してデフレ脱却の芽をうむことになるリスクはどの程度あるのか。...

重要なことは、消費税率の引き上げで景気に大きな影響が出たとしても、それはリカバーできる面が大きいということだ。...

*この記事は日本経済新聞社の許諾を得て転載しています。